

ミネルバ



125号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

掲載記事

- 公開講座報告
- 学校等へ出向いての支援
- ICT利活用
- 長期研修生の紹介
- 知っ得情報！！

公開講座報告

公開講座は、研修講座の一部を公開しており、先生方が聴講することができる講座です。今年度も、著名な講師をお迎えして、多数の参加がありました。内容も、先生方のニーズに応じた講義をしていただきました。

小学校外国語活動Ⅱ講座

松山大学大学院言語コミュニケーション研究科

教授 金森 強

昨年度から本格実施されている外国語活動で「何を目指し、何を大切にするのか」という基本理念について、丁寧に、かつ、分かりやすく講義された。受講者からは「コミュニケーションにおいて、人との関わりで本当に大事にすべきことは何かがよく分かった」といった、「人との関わり」についての感想が多くあった。



子どもや保護者への関わりに生かすブリーフセラピー講座

東京大学大学院医学系研究科

助教 森 俊夫

校種を問わず、多くの参加者があり、問題の解決に焦点を当てたアプローチ法であるブリーフセラピー（短期療法）の理論とその方法について講義された。受講者からは「教職員皆さんに受けてもらいたいような内容で、人と関わる仕事をする上で大切な考え方が詰まっていると思った」「ブリーフセラピーの考え方ややり方など分かりやすく説明してもらい、学校でもすぐに使えるものもあり、実践したいと思った」と好評だった。



キャリア教育講座

福岡大学人文学部

准教授 寺崎 里水

「キャリア教育の現状と実践の在り方」というテーマで、社会の現状を、たくさんのデータを用いながら分かりやすく講義された。受講者からは「社会の現状に対応し、キャリア教育を進めていく必要性を感じた」と好評だった。



小学校社会科Ⅰ講座

文部科学省初等中等教育局

教科調査官 澤井 陽介

「今、社会科の授業に求められていること」をテーマに、言語活動の充実や指導と評価の一体化について実践事例を含めて分かりやすく講義された。受講者からは「効果的・効率的な評価について具体的に話してもらい、よく分かった」と好評だった。



発達障害のある子どもがよりよく青年期を送るための支援講座

宇都宮大学教育学部

教授 梅永 雄二

発達障害のある中学校や高校の生徒が抱える課題と、充実した学校生活を送るための支援の在り方について講義をされ、280名を超える参加者があった。受講者からは「型にはまった指導・支援で苦しんでいる子どもたちがたくさんいることに気付かされ、生徒一人一人の人生を考えて、私たちがいろいろな方策をもっておくことが重要だと思った」というような、自分自身を振り返った感想が多くあった。



来年度も多数
ご参加ください。



学校等へ出向いての支援



教育センターでは、所員が各学校等の要望にお応えして、先生方の研修のお手伝いをしています。各学校へ出向き資料提供等を行う「学校等へ出向いての支援」と、来所された先生方に資料提供等を行う「来所者への支援」があります。今回は、学校等へ出向いての支援の様子を紹介します。下記以外にもQ-Uテストの活用やソーシャルスキルトレーニングに関する支援等を行っています。多くの依頼をお待ちしています。

学習状況調査

4月に実施しました県学習状況調査の結果を活用した指導改善のための校内研修への支援を行っています。内容については、それぞれの学校の要望等に合わせています。

おおむね次の3点についての支援を行っています。

- ① 分析ツールの見方や分析の進め方
- ② 教科に関する調査や意識調査から見られる学校や児童生徒の様子
- ③ 分析結果を踏まえた指導改善のアイデア

特に③については、多くの学校でワークショップ形式によるグループ演習を取り入れています。それぞれの学校における研修会では、先生方が自校の児童生徒のことを真剣に考えながら、これからの取組を考えられている姿が大変印象的です。これからも調査結果が各学校で有効に活用されるよう、支援に努めたいと思っています。



特別支援教育

主に通常学級に在籍する気になる児童生徒の理解と支援について、特別支援教育に係る校内研修会やケース会議において話をしています。特に、学習場面で感じている苦手さについて擬似体験を通して児童生徒の気持ちを理解してもらったり、具体的な支援方法について共通理解を図ったりしています。大切なことは、児童生徒が今「できること、できていること」を活用しながら、意欲的に、自信をもって学習に参加できる状況を指導者が工夫してつくり、支援していくことです。

全ての児童生徒がよりよい生活を送れるように、先生方の支援をしていきたいと思っています。

教科領域等

各教科領域で、各学校の要望に沿った支援を行っています。[中学校・高等学校の教科](#)にもご要望があれば研修のお手伝いを致します。[小学校道徳](#)や[小学校特別活動](#)も支援に参っています。今回は、今年度支援依頼の多い小学校算数科について紹介します。

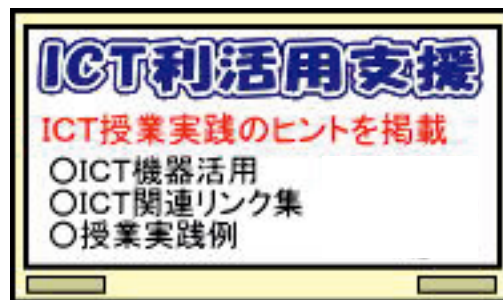


小学校算数科では主に、言語活動を充実させた指導の在り方についての理論研修と授業の実践について、支援を行っています。理論研修では学習指導要領の改訂や言語活動についてのポイント、授業の流れについて話をしています。授業の実践については、研究授業を基に算数科の内容や指導方法のポイント等について共通理解を図るようにしています。また、今後の指導に関して、課題設定、見通しのもとせ方、個別支援、小集団学習、練り合いなど授業を行う上でのポイントについて実際の授業を基にした説明をしています。このような支援を通して、先生方の授業づくりに生かしていただきたいと思います。

ICT 利活用実践研究をご活用ください！

県が進める「先進的ICT利活用教育」の推進に伴い、教育センターが開催するICTに関わる研修講座への参加も、例年の倍以上の先生方が希望されており、講座を増設する等して対応に努めているところです。また、「指導事例」や「教材」が欲しい」といった要望も多く聞かれます。

そこで、先生方のこのようなニーズに更にお応えできるようにと、教育センターではICT利活用実践研究に取り組んでいます。現在、教育センターWebで公開している実践事例等は次のとおりです。毎月1000件余りのアクセスがあり、先生方にご覧いただいています。11月から取り組める教材もありますので、どうぞご活用ください。



(教育センターWebの「ICT利活用支援」または「ICT利活用実践研究」をクリックしてください)



高等学校英語科

英語Ⅰと英語Ⅱの実践事例です。英語Ⅰでは動画や画像による背景知識の形成、フラッシュカードの代わりにスライドを利用した新出単語の提示、ペアワークでのコミュニケーション活動を紹介しています。英語Ⅱでは抽象度が高い英文について、論理展開を視覚化することによって、英語が苦手な生徒であっても本文の内容理解や要約がしやすくなるようにしています。そして最後に論理展開を自分のことに置き換えてみるという自己表現活動につなげます。



中学校技術・家庭科（技術分野）

「技術分野のガイダンス」、「のこぎり引き」、「生活と情報の関わりを知ろう」、「知的財産権と個人情報について考えよう」の4つの単元の実践事例です。ガイダンスでは、電子黒板を利用して、生徒に興味・関心を高める活動を紹介しています。のこぎり引きでは、動画の利用を工夫し、技能習得を手助けする実践事例です。その他の項目は、パソコン室内のICT機器を利用することで、話し合い活動を充実させる事例と授業導入時の興味・関心を高める一例を紹介しています。



小学校算数科

5、6年生で学習する単元の中から、「面積」や「立体の体積」など、4つの事例を紹介しています。授業のねらいに応じて、①問題をつかむ段階、②学び合いの段階、③まとめの段階においてICTを取り入れています。問題の構造が捉えにくい文章問題では、パワーポイント等を使って視覚的に問題を提示し、イメージをもたせて解決への手掛かりとさせました。また、図形についての学習では、電子黒板を使って図形を動かして見せたり、専用のペンで図に書き込みをしながら説明させたりすることで、図と式を関連付けて考え、表現させていく活動を紹介しています。



今年度は小学校「外国語活動」、中学校「数学」で同様の研究を行っています。また、高等学校「国語総合」「日本史A」「数学Ⅰ」「数学A」「化学基礎」「生物基礎」「コミュニケーション英語Ⅰ」「家庭基礎」の授業展開案作成に取り組んでいます。いずれも年度末には成果をWeb公開しますので、併せてご活用ください。

問い合わせ先

情報課 情報教育担当 TEL:0952-62-3554(直通) メール: jouhou@saga-ed.jp

長期研修生紹介



長期研修事業は、県内の学校教育における教科等の諸課題の解決を目指した研修制度です。10月1日から3月31日までの半年間で研究を進めています。平成25年2月22日(金)の教育実践交流会において研究成果を発表する予定です。また、教育センターWebに今までの研修報告が載っています。ぜひ、ご覧ください。

思考力、判断力、表現力を高める 学習指導の在り方				科学的な思考力・表現力の育成を目指した 学習指導の在り方			
兵動 敦子	東部小学校	国語	横尾 英樹	日新小学校	理科		
北村 里恵	東川登小学校	国語	妹尾 香津裕	神野小学校	理科		
正寶 かおる	有明東小学校	国語	青山 幹郎	旭小学校	理科		
樋渡 博恵	嬉野小学校	国語	奥園 洋光	基山中学校	理科		
中原 裕文	大浦小学校	社会	野田 浩輔	東陵中学校	理科(ICT活用)		
林 幸児	武雄中学校	社会	他者との関わりを豊かにする指導の在り方				
福田 栄吉	晴田小学校	算数	坂口 潤	外町小学校	外国語活動		
平田 貴利	成和小学校	算数	森田 祐香	湊小学校	特別活動		
宮崎 直子	呼子小学校	算数	陣内 彩	鳥栖西中学校	特別活動		
小川 佳子	山内東小学校	算数	特別支援学校における個に応じた支援の在り方				
落合 良仁	肥前中学校	数学	井手 江里子	伊万里特別支援学校	特別支援教育		

知っ得情報!!



◎教育センターからのお知らせを掲載しています。

◎「ミネルバ」はホームページでご覧いただけます。

教育論文・ICT利活用研究募集中

締切迫る

1. 募集内容

「教育論文」部門

各教科領域等、学校教育全般のテーマの中から、今日求められている教育課題を追究した研究や実践

・校内研究の部 ・個人（グループ）研究の部

「ICT利活用実践研究」部門

ICTの効果的な活用をテーマとして取り組んだ研究や実践

2. 提出期間・応募方法

- ・市町立の幼稚園、小・中学校 10月31日（水）～11月9日（金）各市町教育委員会へ
- ・県立学校 11月14日（水）～11月22日（木）直接教育センターへ

☆ 事務局再編に伴い、原則、メール添付での提出に変更致します。応募方法に関する詳細につきましては10月17日の「羅針盤さが」にて配信している連絡事項をご覧ください。

問い合わせ先

情報課 教育課程支援担当 TEL: 0952-62-5238 (直通) メール: shien@saga-ed.jp